

平成30年度 学校経営計画書

石川県立羽咋高等学校

学校長 釜 親 徹

1 教育目標

- ① 自主性の確立と文武両道の実践
- ② 協調性と責任感の啓培
- ③ 教養と学習の高揚
- ④ 健全な心身の育成
- ⑤ 国際的視野を身につけた社会に貢献する人材の育成

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 教育目標の「文武両道の実践」においては、一定の成果を上げており、さらなる飛躍を目指し努力している。
- ② 多くの生徒が素直で、誠実に学校生活に取り組んでおり、地域から信頼を得ている。
- ③ 予習・授業・復習のサイクルは定着し学力は向上しているが、主体的に学ぶ姿勢をさらに強めたい。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 高い志と夢を育て、個々の興味・関心・適性を生かした指導で、生徒の進路目標を実現させる。
- ② 主体的に学びに向かう力や人間性を涵養し、学びを人生や社会に生かそうとする生徒を育成する。
- ③ コミュニケーション能力を向上させ、表現力を高める中で、グローバル社会で活躍する人材を育成する。
- ④ ふるさとの自然・歴史・文化・伝統について学び、地域に対する愛着と敬意を育成する。
- ⑤ 人権感覚を豊かにし、「差別をしない」「差別を許さない」学校作りを推進する。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 本校の教育理念・目標について共通理解を深め、その達成のために教職員一丸となり組織的に取り組む。
- ② 教師としての倫理性を高め、より良質な教育活動を実践するために、常に研鑽に励む。
- ③ 将来ある生徒の芽を伸ばすべく家庭や地域社会と連携して、生徒の進路実現を図る。
- ④ これまでの働き方を見直し、限られた時間の中で、質を落とさぬよう業務改善に取り組む。

3 今年度の重点目標

- ① 確かな学力と進路実現の保障
「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を進め、思考力や表現力、主体性を持って協働して学ぶ態度の育成を図り、生徒の進路実現に資することに努める。
- ② 基本的な生活習慣の確立と豊かな心の涵養
あいさつの徹底等を通してコミュニケーション能力や規範意識を向上させ、自主自律の精神のもと、他者を思いやる心を持った心身共に健康な生徒を育成する。
- ③ 本校のブランドの浸透
地域との連携を深める中で「医志・教志未来塾」等の様々な実践的活動をさらに発展させ、本校の特色ある教育活動に位置付ける。
- ④ 教職員の多忙化改善
多忙化改善の取組として、放課後の働き方に対する意識改革と時間外勤務時間の縮減を目指す。